
君の選択は凶・吉の選択に導きます

林檎太郎

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

君の選択は凶・吉の選択に導きます

【Nコード】

N7511U

【作者名】

林檎太郎

【あらすじ】

ジャンルがよく解らないので適当に決めました。

選択…、僕は選択出来るだろうか。

僕は選択する事を恐れている。

この選択は、僕の運命を変える。

吉か凶、どちらになるか分からない。

好きな人に告白すべきか、しないべきか。

告白して、駄目だった時の事を考えると行動する事は出来なかった。

僕は悩み続け、告白する事に決めた。

結果はOKだった。

それから、付き合い始めて5年が経過した。

その頃、僕は結婚式の計画をしていた。

彼女のお腹には子供もいた。

幸せの絶頂だった。

無事、結婚式も終わり、子供も産まれた。

僕は仕事が終わわり、車で帰宅していた。

ラジオを聞いてた僕の耳に絶望的な言葉が入ってくる。

それは、僕の家族が死体見つかったニュースだった。

絶望の日々、やる気は出ない、金は尽きてしまい、ついには自殺を
考える事に。

僕は自殺するために、崖から海にダイブした。

凄く苦しい、意識は確実に薄れ行く、その時だった。

妻と子供の声が聞こえる。

「選択肢、Bに戻りますか？」

選択肢B…、なんだそれは。

妻と子供がその選択肢Bに導いてくれるか…？

よく解らないまま、僕は答えた。

「選択肢Bに戻ります」と僕は答えた。

(後書き)

読んでもらい、ありがとうございます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7511u/>

君の選択は凶・吉の選択に導きます

2011年10月9日09時41分発行